

# kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.81

第53期(2017年10月期)第3四半期号

## カナモトグループの震災対応：一日も早い復興に向けて

### グループの総力を結集し、引き続き東北、 熊本など被災各地の支援に努めてまいります。

東日本大震災の発生から6年半が経過し、被災地では復興まちづくりやインフラ整備が着々と進められています。復興庁の2017年6月末時点のまとめでは、岩手・宮城・福島いわゆる被災3県で完成した災害公営住宅は計画の85%、防災集団移転促進事業（高台移転）による宅地も計画の93%が造成されました。インフラ関係では鉄道の復旧が順調に進み、被災した路線延長2,330kmのうち2,267kmが復旧、復興道路・復興支援道路も計画済延長570kmのうち約半数の277kmが完了し、2020年度中には全線が開通する見通しです。

また、昨年発生した熊本地震、鹿児島台風災害、北海道台風災害、今年発生した各地の豪雨災害につきましても、グループ企業間の連携強化や経営資源の集中配置を行うなど継続的な支援体制を構築し、総力を挙げて対応しております。

#### Photo Report 各地で進む復旧・復興工事



北海道上川郡清水町の牧場災害復旧工事



北海道河西郡芽室町の上芽室橋災害復旧工事



北海道河西郡芽室町の河川災害復旧工事①



北海道河西郡芽室町の河川災害復旧工事②



岩手県陸前高田市の高台造成工事



岩手県大船渡市の防潮堤工事



宮城県本吉郡南三陸町の河川災害復旧工事



宮城県亶理郡山元町の護岸工事



宮城県名取市の道路築造工事



宮城県牡鹿郡女川町の復興まちづくり事業



鹿児島県鹿屋市の河川災害復旧工事①



鹿児島県鹿屋市の河川災害復旧工事②

# 第53期第3四半期決算の概況 [平成28(2016)年11月1日～平成29(2017)年7月31日まで]

## ●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第53期第3四半期	116,903 (13.0)	12,097 (14.4)	12,449 (23.9)	7,850 (33.3)	222.15
第52期第3四半期	103,422 (4.5)	10,576(△15.4)	10,049(△19.9)	5,889(△21.5)	166.65

## ●連結業績予想

第53期通期	155,800 (7.5)	17,130 (13.2)	17,360 (20.5)	10,730 (32.5)	303.63
--------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

### [経営環境]

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、諸々の政策効果もあり、設備投資の持ち直しや、企業収益や雇用環境の改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、英国のEU離脱問題をめぐる欧州情勢、米国の政権運営の混乱から不確実性要素が増大することによる世界経済への影響懸念など、引き続き留意が必要な状況でありました。

### [第3四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、大都市圏における再開発事業など民間設備投資に明るさが見られたことに加え、公共投資も災害復旧関連需要や社会資本の老朽化に対応する維持・更新需要を中心に引き続き底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは継続的成長を目指した長期経営ビジョン「BULL55」(平成27年10月期～平成31年10月期)の諸施策を粛々と遂行いたしました。実需に応じた機動的投資はもとより既存資産の再配置を迅速かつ効率的に実施することで、資産稼働水準を維持し、レンタル用資産の効率的稼働を目的とする体制強化に注力しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,169億3百万円(前年同期比13.0%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は120億97百万円(同14.4%増)、経常利益は124億49百万円(同23.9%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は78億50百万円(同33.3%増)となりました。

### [セグメント別の業績]

#### 建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、北海道や九州を中心に建設需要が堅調に推移したこと、東京五輪に関連する交通インフラ

整備の本格化や大規模再開発工事の着工により、全体として建設機械のレンタル需要は底堅く推移しました。特に、昨年発生した熊本地震、鹿児島台風災害、北海道台風災害や、今年発生した各地の豪雨災害の復旧活動の支援強化のため、経営資源を集中させるなど継続的な支援体制の構築を進めました。

なお、前連結会計年度は第3四半期から(株)ニシケン業績が連結に加わったこと、また同社との営業面でのシナジー効果も徐々に表れていることから、当第3四半期連結累計期間では九州地区の売上高、営業利益ともに大きく増加しました。

中古建機販売につきましては、期初計画に基づき適正な資産構成を目的とした売却を実施しており、売上高につきましては、前年同期比1.7%増となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,053億51百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は111億9百万円(同12.5%増)となりました。

#### その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連ともに前年並みの推移に止まりましたが、福祉関連が加わったことから売上高は115億51百万円(前年同期比34.5%増)、営業利益は6億91百万円(同76.4%増)となりました。

#### [事業所数の増減]

当第3四半期連結会計期間における拠点の新設は3拠点でありました。

なお、拠点の閉鎖はありませんでした。

新設：関東高所作業車整備センター(千葉市若葉区)、

飯田営業所(長野県下伊那郡)、富士営業所(静岡県富士市)

## ■ 連結財務諸表

### 四半期連結損益計算書(累計)

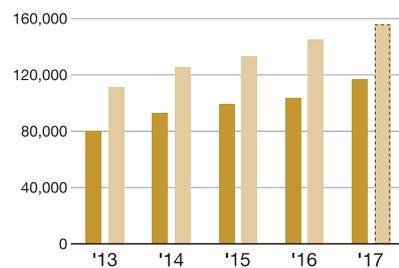
(単位:百万円)	第52期第3四半期 (2015.11.1~2016.7.31)	第53期第3四半期 (2016.11.1~2017.7.31)
<b>① 売上高</b>	103,422	116,903
売上原価	72,706	81,247
売上総利益	30,716	35,655
販売費及び一般管理費	20,139	23,558
<b>② 営業利益</b>	10,576	12,097
営業外収益	400	649
営業外費用	927	297
<b>③ 経常利益</b>	10,049	12,449
特別利益	39	217
特別損失	115	136
税金等調整前四半期純利益	9,973	12,530
法人税、住民税及び事業税	3,468	4,080
法人税等調整額	301	4
四半期純利益	6,204	8,445
非支配株主に帰属する四半期純利益	314	594
<b>④ 親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	5,889	7,850

### 四半期連結包括利益計算書(累計)

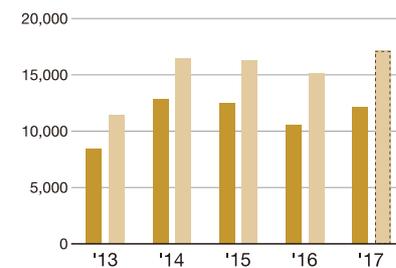
(単位:百万円)	第52期第3四半期 (2015.11.1~2016.7.31)	第53期第3四半期 (2016.11.1~2017.7.31)
四半期純利益	6,204	8,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 362	136
繰延ヘッジ損益	△ 0	0
為替換算調整勘定	93	△ 43
退職給付に係る調整額	—	△ 1
その他の包括利益合計	△ 268	92
四半期包括利益	5,935	8,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,625	7,933
非支配株主に係る四半期包括利益	310	604

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

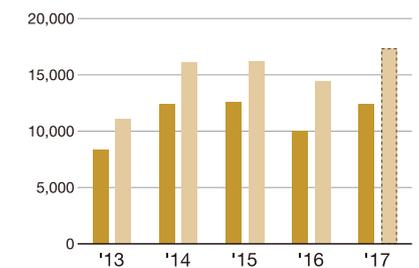
#### ① 売上高



#### ② 営業利益



#### ③ 経常利益



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第52期第3四半期 (2016.7.31)	第53期第3四半期 (2017.7.31)
(資産の部)		
流動資産	84,064	87,554
固定資産	134,205	137,156
有形固定資産	124,718	125,692
無形固定資産	1,072	1,535
投資その他の資産	8,414	9,928
<b>⑤ 資産合計</b>	<b>218,270</b>	<b>224,710</b>
(負債の部)		
流動負債	72,557	69,798
固定負債	67,163	66,553
負債合計	139,721	136,351
(純資産の部)		
株主資本	72,249	80,718
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	45,808	54,277
自己株式	△ 2,129	△ 2,129
その他の包括利益累計額	1,735	2,308
その他有価証券評価差額金	1,598	2,178
繰延ヘッジ損益	△ 0	0
為替換算調整勘定	137	121
退職給付に係る調整累計額	—	7
非支配株主持分	4,563	5,332
<b>⑥ 純資産合計</b>	<b>78,548</b>	<b>88,358</b>
負債純資産合計	218,270	224,710

## とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社ノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルダイアリー手帳2018年版です。

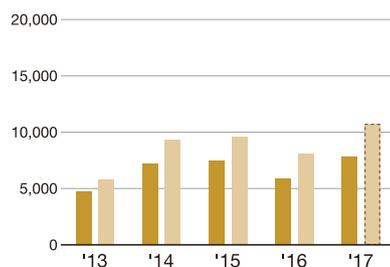
表紙には手触り良く弾力性に富んだ、汚れに強い塩化ビニールを使用。レイアウトはスケジュール管理のしやすいプロジェクトタイプを採用、集計ページも多く使いやすい一冊です。



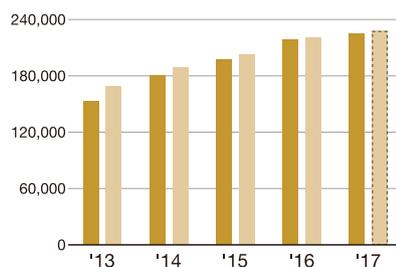
ご応募の締め切りは2017年11月6日(月)当日消印有効です。

なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

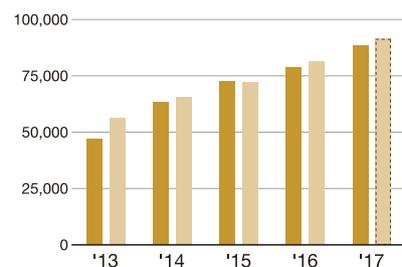
④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



■ 第3四半期 ■ 通期 □ 予想値 単位:百万円

# TOPICS

IR 関係 事業関係 イベント  
 ※今後のスケジュールにつきましては実施予定日を記載

Topics

- 3Q** 2017.5
- サクセスフェア2017：北見、九州建産（福岡）を皮切りにスタート
  - サクセスフェア in 山形を開催
  - ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 金沢に参加
  - 関東高所作業車整備センター（千葉市若葉区）を開設
- 2017.6
- 第53期（2017年10月期）第2四半期業績予想の修正について発表
  - サクセスフェア in 水戸を開催
  - 第53期（2017年10月期）第2四半期決算発表
  - 飯田営業所（長野県下伊那郡）を開設
  - サクセスフェア in 第一機械産業（大隅）を開催
  - 第53期（2017年10月期）第2四半期決算説明会を実施（機関投資家向け）
  - 富士営業所（静岡県富士市）を開設
  - サクセスフェア in 帯広、in 郡山を開催
  - ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 札幌に参加
  - サクセスフェア in 高崎を開催
- 2017.7
- サクセスフェア in 苫小牧を開催
  - 海外IRツアーを実施（英ロンドン）
  - サクセスフェア in カンキ（山崎）を開催
  - カナモト建設技術展示会2017 in さっぽろを開催
  - ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 広島に参加
  - サクセスフェア in 第一機械産業（奄美）を開催



- 4Q** 2017.8
- 村上営業所（新潟県村上市）を開設
  - 日経IR・投資フェア2017に出展（東京ビッグサイト）
  - サクセスフェア in カンキ（東灘）を開催
  - 小牧営業所（愛知県小牧市）を開設
  - 東友エンジニアリング(株) 及び名岐エンジニアリング(株) の株式を追加取得
- 2017.9
- サクセスフェア in 第一機械産業（鹿児島）を開催
  - 第53期（2017年10月期）第3四半期決算発表
  - サクセスフェア in 旭川を開催
  - ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 福岡に参加
- 2017.10
- 札幌証券取引所主催「札幌IR」個人投資家向け会社説明会に参加
  - ラジオNIKKEI ジャパンツアー-IR in 大阪 10/21（土）



## 会社概要

商号	株式会社力ナモト(英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964(昭和39)年10月28日
資本金	136億52百万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	36,092千株
連結売上高	1,448億70百万円(2016年10月期)
連結従業員数	2,944名(2016年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

## 株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同郵便物送付先 及び電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 電話 0120-232-711

### 株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 役員

代表取締役会長	金本 寛中	常勤監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	卯辰 伸人**	監査役	橋本 昭夫
	成田 仁志*		辻 清宏
	金本 龍男*		直井 皖
	平田 政一*		曾我 浩司
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	長崎 学*		問谷 悟
	麻野 裕一*		北川 健
	棕梨 直樹*		渡部 純
	橋口 和典*		佐藤 信幸
	内藤 進		
	及川 雅之		
	米川 元樹		

(注1) \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。  
(注2) \*\*印の取締役は専務執行役員を兼任しております。  
(注3) 取締役内藤進氏及び取締役及川雅之氏、取締役米川元樹氏は社外取締役であります。  
(注4) 監査役橋本昭夫氏及び監査役辻清宏氏、監査役直井皖氏並びに監査役曾我浩司氏は社外監査役であります。

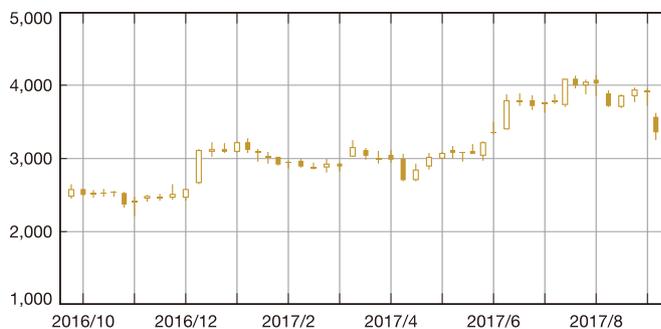
当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。  
ホームページのURLは下記のとおりです。

<http://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>

なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 株価チャート (週足)

単位:円



R100  
古紙配合率100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と  
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札証 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19  
Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7  
Tel:(03)5408-5600

<http://www.kanamoto.co.jp>